

マーケットの動き（2024年3月25日～3月29日）

先週の国内債券市場は、前週末比で金利は低下しました（債券価格は上昇）。

年度最終週の市場は閑散。週央の40年国債入札の結果は良好となり、これを機に超長期債を中心に金利低下が進みました。日銀による国債買い入れは減額が懸念されていましたが、据え置きとなり市場に安心感を与えました。

クレジット市場は、17年ぶりの金融政策変更の直後かつ年度末でもあり、市場は終始落ち着いた様子でした。流通市場の利回り差はおおむね横ばいでした。

投資環境見通し（2024年3月）

国内長期金利はレンジ内での動き

日銀は、物価と賃金上昇の好循環が見通せるまでは現行の金融政策を維持するとの姿勢を示していることから、春闘での賃上げと物価との循環を確認しつつ、4月の金融政策決定会合でマイナス金利政策を解除するとみえています。しかし、その後の連続利上げは困難とみられる中、国内長期金利はレンジ内での動きに収まるとみえています。なお、3月会合で政策修正が決定されるとの一部の見方もあり、国内長期金利は短期的に変動率が上昇する可能性もあります。

	3月29日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（日本、%） （変動幅）	0.72	▲0.02	0.01	▲0.04	0.43
NOMURA-BPI総合 （騰落率）	366.50	0.16%	▲0.11%	0.37%	▲2.50%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202403_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

日本国債利回りの推移

（期間：2023年2月28日～2024年3月29日）



NOMURA-BPI総合指数の推移

（期間：2023年2月28日～2024年3月29日）



※2023年2月28日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成